

道路事業 主要地方道 大谷鮎原神代線（複列掃守）（継続：再評価〔第1回〕）

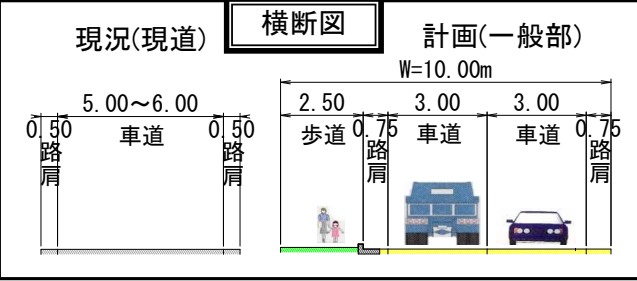
- 凡例**
- ：高速道路
 - ：国道
 - ：県道
 - ：事業区間
 - ：公共施設、学校等
 - ：交通量調査地点



事業概要・進捗状況		
事業区間	南あわじ市複列掃守	
事業内容	道路改築	
	今回評価時点	新規評価時点
総事業費	9.8億円	9.8億円
内用地補償費	6.1億円	6.1億円
完成予定年度	平成33年度	平成26年度
延長	600m	600m
構造規格	3種3級	3種3級
計画幅員	6.0(10.0)m	6.0(10.0)m
進捗率 〔内用地補償〕	64% 〔84%〕	-
残事業費	3.5億円	-
B/C	1.4	1.4

新規評価年度	平成20年度
事業採択年度	平成21年度
着工年度	平成21年度
再評価年度	平成30年度

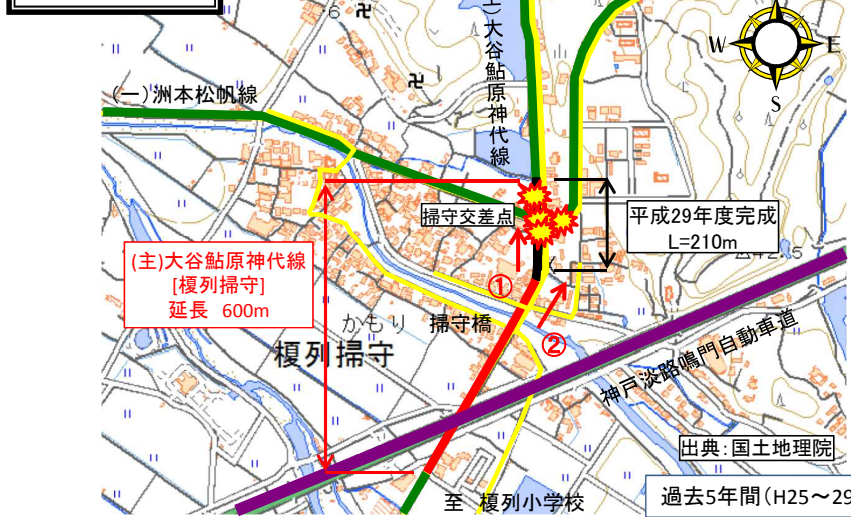
再評価の結果	
継続	■ ：当初計画 ■ ：実施・計画



スケジュール

工種	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
測量・設計													
用地補償													
橋梁整備													
道路改良工事													

事業進捗平面図



- 凡例**
- ：高速道路
 - ：県道
 - ：事業区間
 - ：整備済区間
 - ：通学路
 - ★：交通事故発生箇所

現況写真



進捗状況

	事業進捗状況・予定	整備効果
全体 (H21~33)	【事業費=9.8億円】 延長 600m 用地取得面積：約2,600m ² 物件補償件数：29件	2車線の拡幅及び歩道設置により交通の安全を確保。
事業採択~再評価まで (H21~30)	【事業費=6.3億円】 ①事業進捗率 64% ②用地契約率 84%	交差点部の完成により、信号渋滞の解消、歩行者・自転車の安全を確保。
今後3年間 予定 (H31~33)	【事業費=3.5億円】 H33全線供用予定	全区間において、安全で円滑な交通を確保。

経緯・必要性

事業実施の必要性	①現道の幅員が6.0m程度と狭小であり、大型車と乗用車のすれ違いが困難な状況であるため、現道拡幅をすることにより、円滑な交通を確保する。 ②複列小学校の通学児童は現道が危険(幅員狭小、歩道無し)なため、歩道を整備することにより通学児童の安全を確保する。 ③区間内の掃守交差点では、朝の通勤時に右折車両による渋滞が発生しているため、右折レーンを設置し、渋滞解消を図る。
再評価に至る経緯等	【新規評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】 ①用地買収において、当初想定していなかった地図混乱の解消に時間を要した。 ②用地買収および物件移転において、交渉が難航し、時間を要している。
継続実施の必要性	事業の必要性は事業採択時と変わらず、当該区間の早期供用を望む地域からの要望は依然として強いことから、継続して事業を実施する必要がある。

過去5年間(H25~29年)の交通事故発生件数 4件

平成29年度完成 L=210m